

大塩平八郎の乱

日時 二〇一八年九月二十八日(金)から
二〇一九年四月四日(木)まで

場所 経済・経営・法律系図書室(B3棟6階)

『口上』より

天保8年2月19日(西暦1837年3月25日)、元大坂町奉行所与力の大塩平八郎らが挙兵しました。有名な「大塩平八郎の乱」です。首謀者が元幕府役人で有名な陽明学者であったこと、天満から船場にかけて大坂の約20%が焼失したことなど、その影響はきわめて大きいものでした。今回は所蔵史料の中から、大塩が決起前に大坂市中や周辺農村に配布した「施行札」、大塩らの処罰を記した「御触書写」を紹介します。